

とも たす くふう 友だちを 助けるための 工夫！

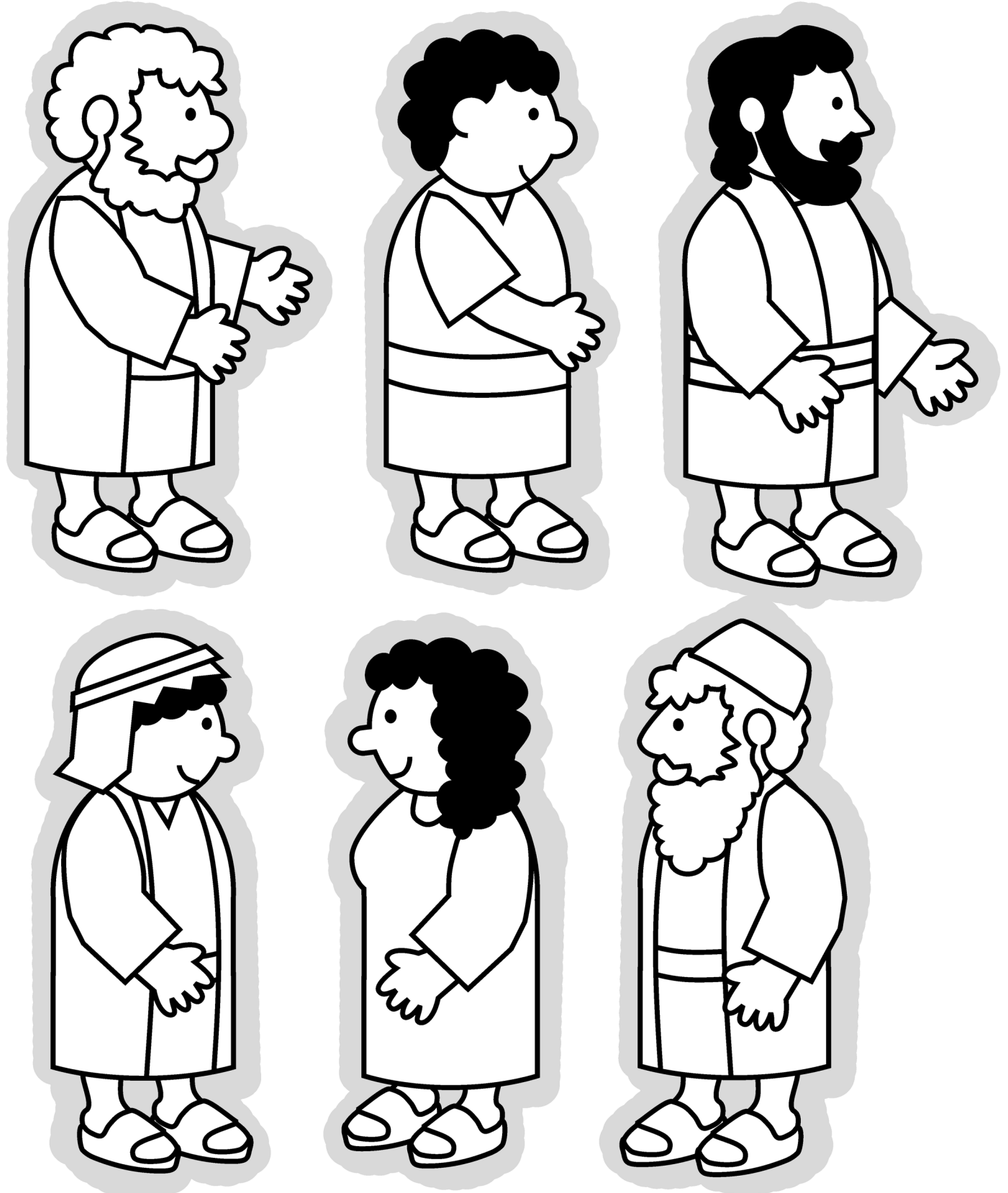
せいしょものがたり
ミニ聖書物語

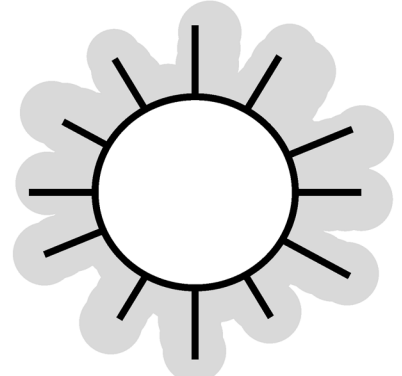
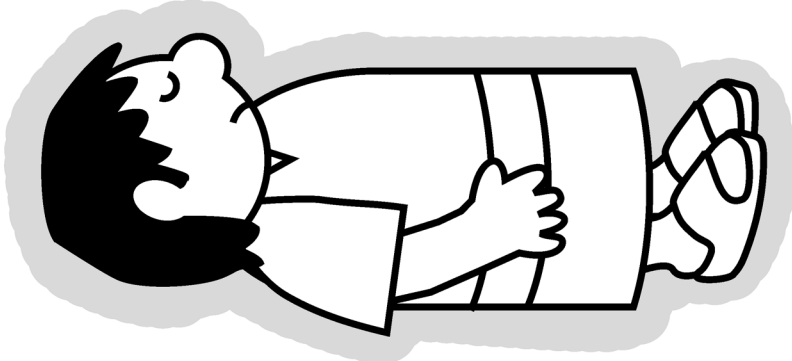
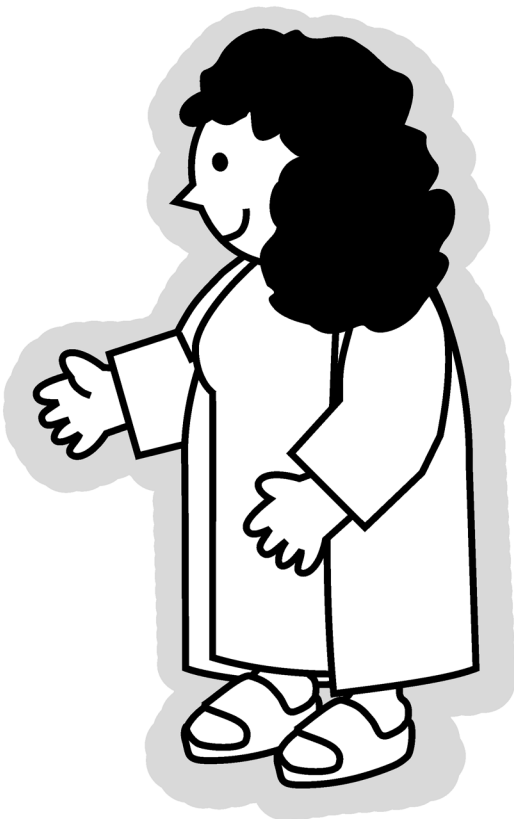
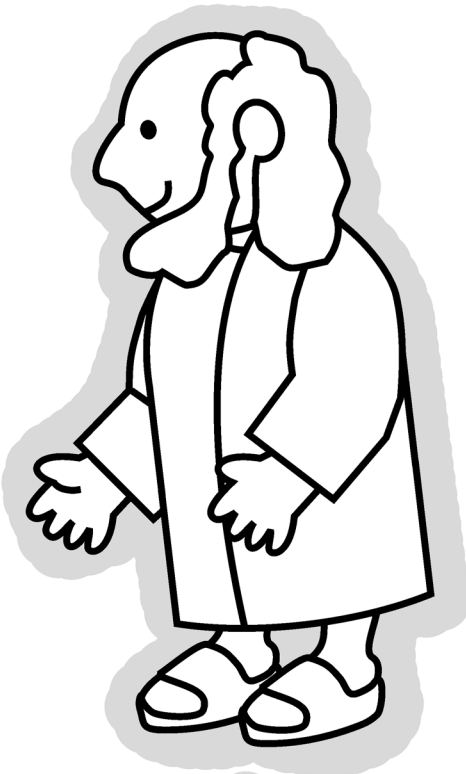
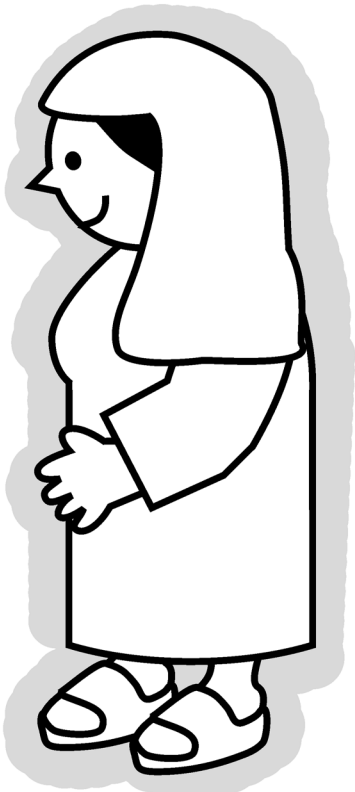
マルコによる福音書 2:1-12に書かれているお話の再話

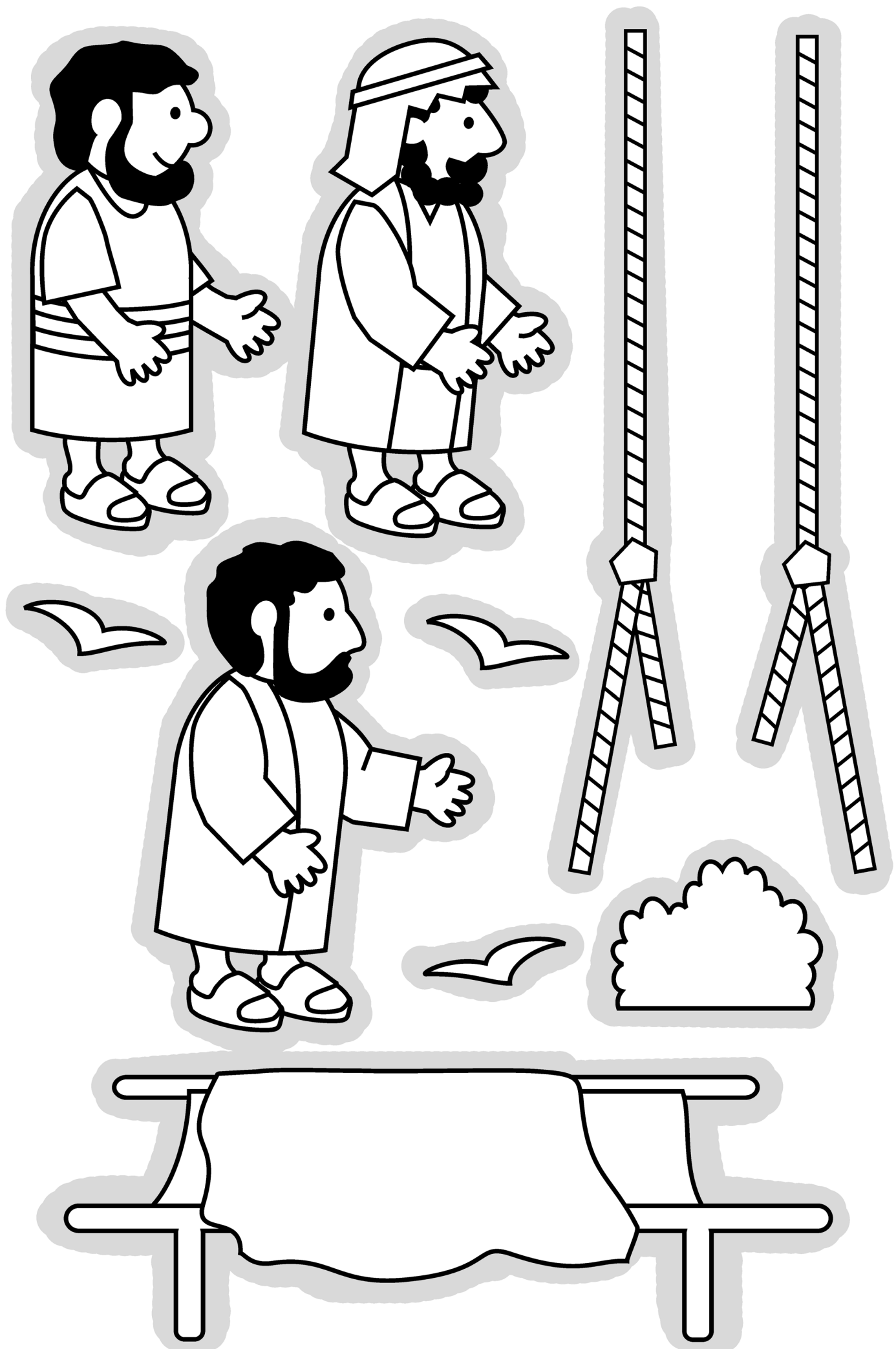
フランネルグラフ

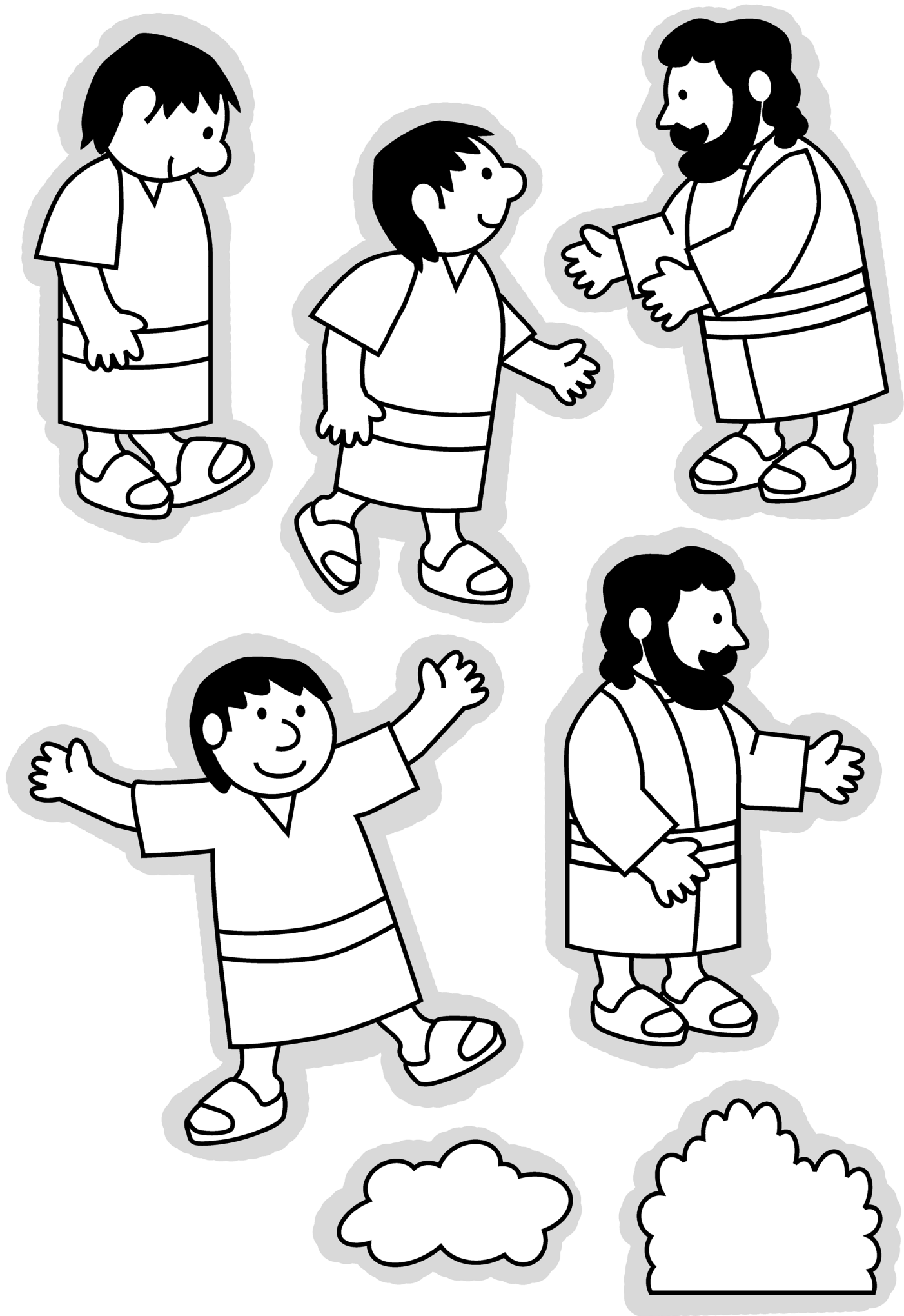
各フランネルグラフのピースに色をぬった後、表側に透明な接着シートを貼る。各ピースを切り抜く。各ピースがフランネルボードにつくように、裏側にはサンドペーパーかフェルトを小さく切ったものを貼りつける。このフランネルグラフを使って、イエス様が病気の人をいやして下さったお話をしよう。マルコによる福音書の2:1-12から読んでもいいし、このミニ聖書物語のお話をそのまま読んでもいいよ。

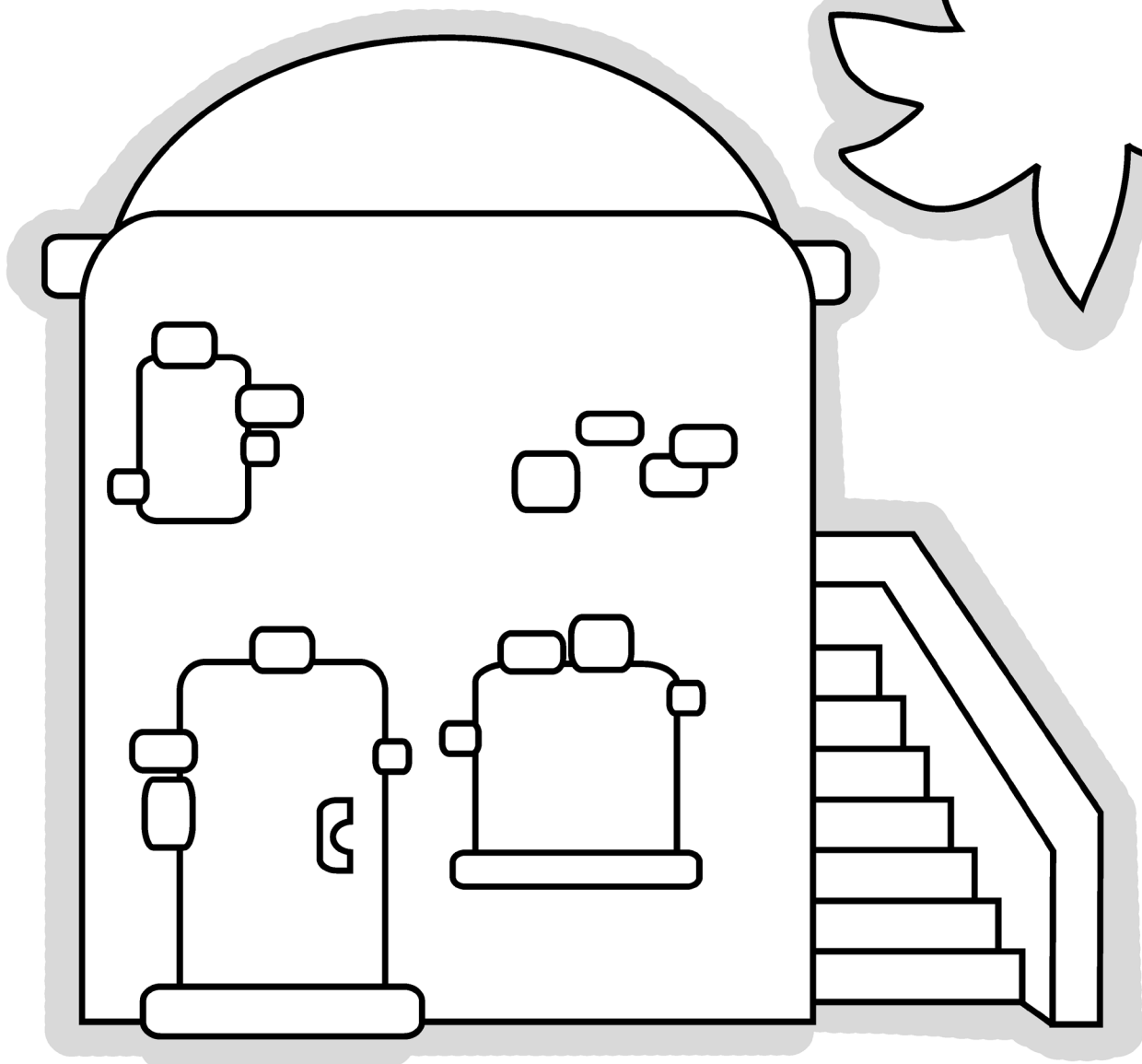
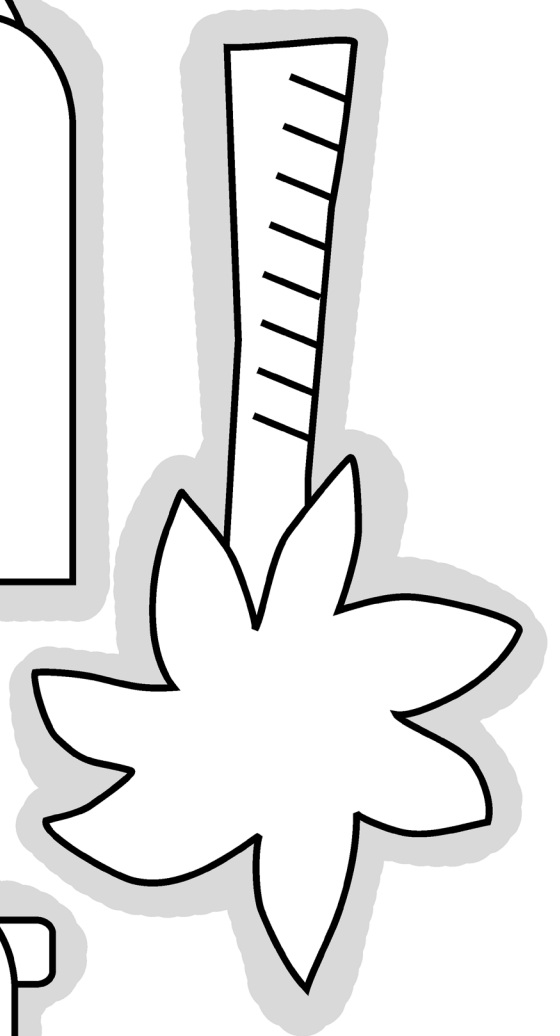
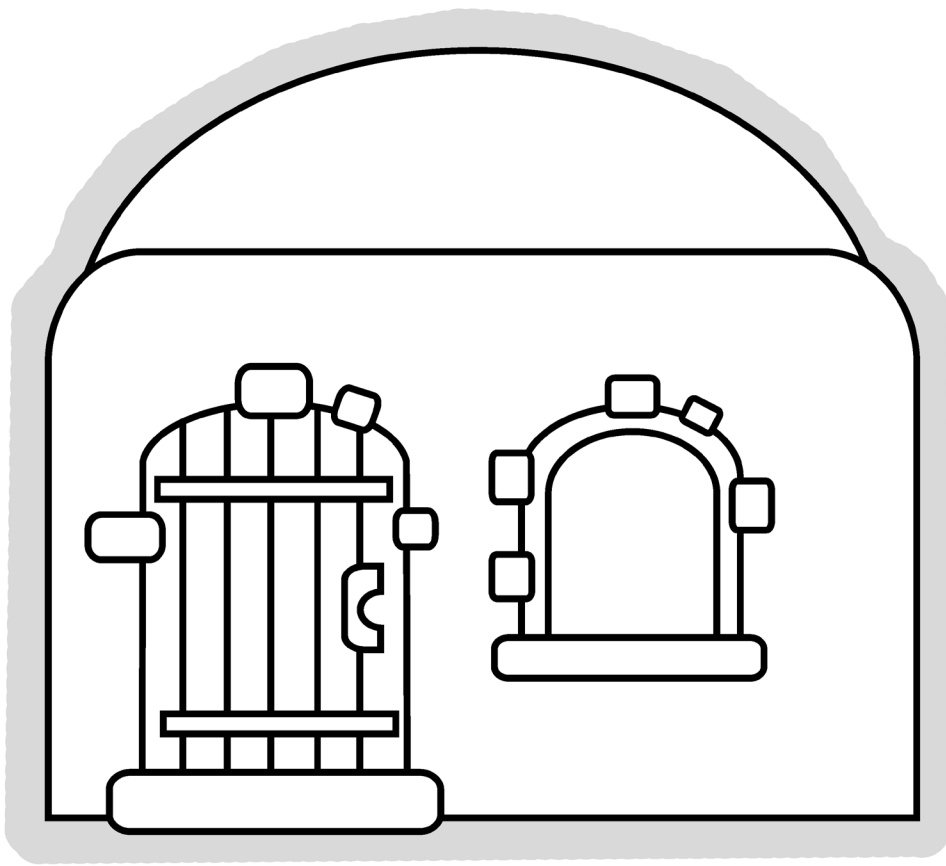
このページをコピーして、自分のオリジナル・リーダーを作ったり、ポスターやモービルにすることもできるよ。

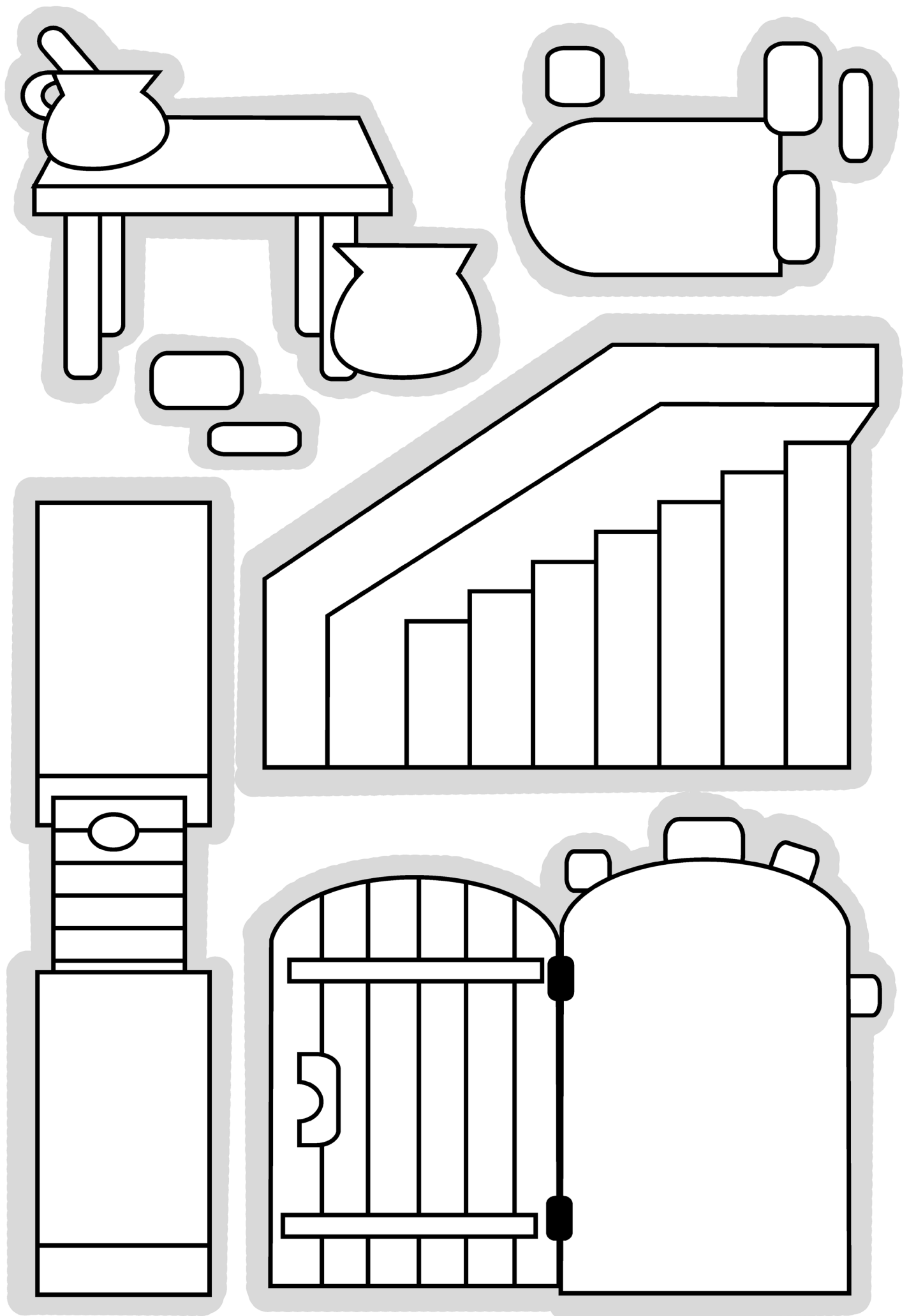


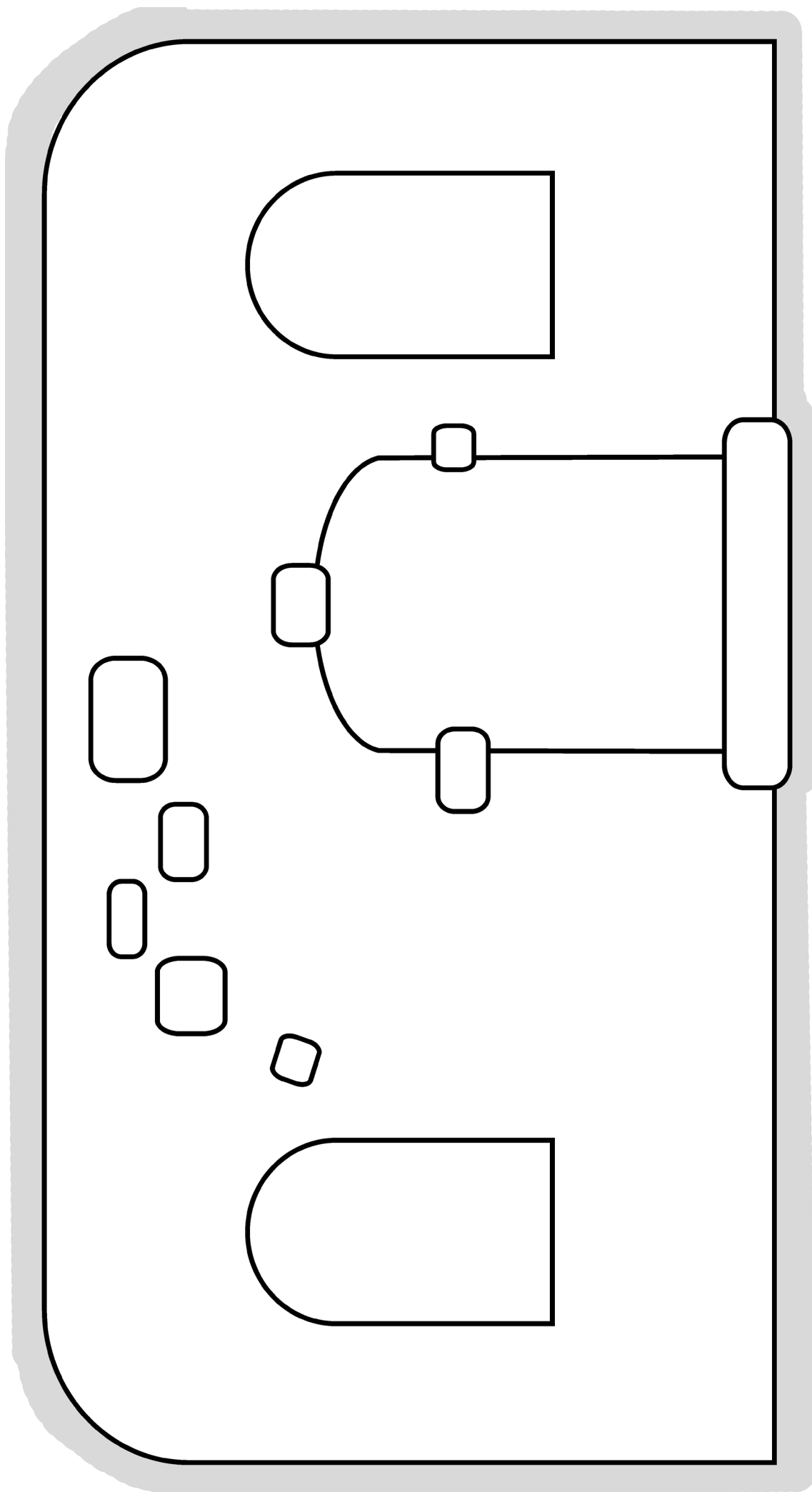












とも たす くふう 友だちを 助けるための 工夫！

マルコによる福音書 2:1-12に 書かれている お話の 再話

ある日、イエス様と 弟子たちは、カペナウムの 町へ 出かけていきました。

イエス様が 来られたと いうので、人々は わくわくしながら、お話を 聞こうと 集まってきました。

イエス様は 家の中におられたのですが、家の中は 人で いっぱいでした。
イエス様にお会いしようと、外には たくさんの 人たちが 待っていました。

ある人たちに、病気の 友だちが いました。その 友だちは、動くことが できず、
いつも ベッドに ねていなければ なりませんでした。

その 人たちは、イエス様に 友だちを いやしていただきたいと 思いました。
けれども、あまりにも たくさんの 人がいて、イエス様の そばに 行くことが
できません。

そこで、1人が 良いことを 思いつきました。みんなで 病気の 友だちを
そっと、家の 屋上に 運んでいきました。

彼らは、屋上に 大きな 穴を 開けました。病気の 友だちを 担架で 家の中に
つり下ろそうと いうのです。

彼らは 病気の 友だちを、ちょうど イエス様が 立っておられる 所まで、
つり下ろしました。

イエス様は、病気の 人の 友だちが 信仰を 持っているのを見て、感心しました。
彼らは、イエス様が 友だちを いやせると 信じていたのです。「起き上がって、
歩きなさい」と、イエス様は 病気の 人に 言いました。

するとその人は、すぐさま 起きて、立ち上がりました。

イエス様が 彼を いやしてくださったのです。彼は 動くことが できます。
立つことが できます。飛びはねることだって、できました！

その人は、自分を いやしてくださった 神様を 賛美しながら、感謝して 自分の
家まで 走って行きました。